



■基礎データ

タイトル 緊急地震速報を聞いた時の正しい行動を外国人に理解してもらう		
ねらい	防災教育の学習目標	外国語教育の学習目標
【展開1】 情報収集	1. 地域の災害特性を理解する 2. 緊急地震速報の仕組みや取るべき行動を調べ理解する	1. グループで協力して必要な情報を収集し外国語で理解する(知識の習得・読む技能の活用・主体性)
【展開2】 グループ活動	3. 訪日外国人が緊急地震速報を聞いたときの適切な行動を理解するために必要な情報(シナリオ)を説明できる	2. グループで協力して外国語によるシナリオ動画を作成する(思考力・判断力・表現力・主体性)
【展開3】 相互評価と振り返り	4. 緊急地震速報の理解度と作成した情報(シナリオ)の効果や有効性を振り返る	3. 評価表に基づきグループのシナリオ動画を相互評価する(話す・聞く技能の活用・主体性)
対象学年	高校生(CEFR A2 レベル程度)	
教科	外国語(英語)	
学習形態	全員・グループ ※プログラムはステップ1~3の10コマ構成だが、ステップ1(4コマ)のみの実施も可能。その際の「まとめ活動」はステップ3【振り返り】を参照。	
準備	iPad等の端末、地震アンケート(英語版)、グループ評価表(英語版)、共同編集用ワークシート(英語版)、緊急地震速報パンフレット英語版(気象庁)	

■学習の流れ ※教員の指示等や生徒の発表は外国語で実施するが、未知語の説明やグループ活動の話し合いは母語の使用可

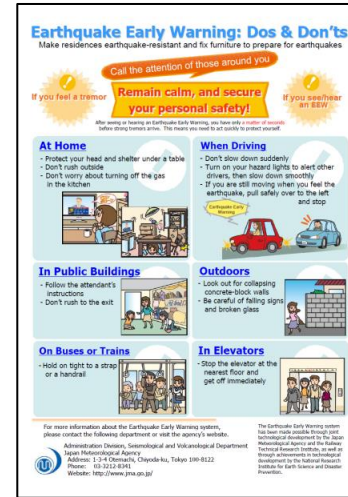
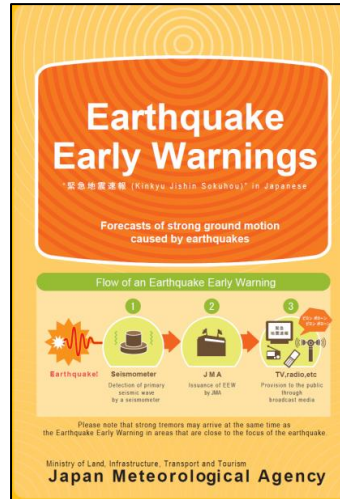
構成(◇外国語学習活動の内容)	指導上の留意点(●主な発問 ■生徒への指示や支援 ※留意点)
展開1(50分×2)【情報収集】緊急地震速報の仕組み等を外国語で理解し、場面や状況に応じて訪日外国人にとって有益だと思われる情報をグループで収集する。	
1-1. 学習のねらいと流れを確認する(5分)	<p>●「これから『防災』をテーマにした外国語の学習を行っていきます。この地域にはどのような災害特性がありますか？」</p> <p>■これまで経験した災害を振り返らせ、何人かを指名する。 例) いつ、どこで、誰が、どのような災害に遭遇したのか、どう対処したのか、それがきっかけで今備えていることはあるか、など。 ※生徒から出た発言の災害関連語に関する外国語の語彙等に慣れさせる。 例) 大雨、洪水、地震、津波、台風、倒壊、避難所など ※自然災害と人為災害の違いにも気付かせることよい。 ※災害経験者がクラスにいる場合は配慮する。</p> <p>●「外国語の授業で『防災』をテーマにする目的は何でしょうか？」 ※「防災」は教科に位置付けられていないため、教科等横断的に防災学習に取り組む機会を利用して防災意識を高めることの重要性を理解させる。 ※特別活動の避難訓練等と関連付けて指導すると効果的。</p> <p>■学習のねらいと流れを確認する。 【防災の学習目標】 災害時に取り残されがちな外国人の視点で災害を想定するため、防災の知識や技能に必要な情報を収集し、自身の防災意識を高める ※外国語の学習を通して自身の防災意識を高めることを理解させる。</p> <p>【外国語(英語)の学習目標】 これまでの外国語学習を通して得た知識や技能を活用して、教師の支援がほとんどなくてもグループで協力して必要な情報を収集し、場面や状況に応じたコミュ</p>



	<p>ニケーション活動を外国語で行う ※防災の学習を通して災害時弱者となりうる訪日外国人に役立つ情報を外国語で伝えることが目的だと理解させる。</p> <p>【学習の流れ】 ステップ1: 事前学習「情報収集と緊急地震速報の理解」【4コマ】 ステップ2: 実践「地震想定シナリオの検討」【3コマ】 ステップ3: 振り返り「シナリオと学習の振り返り」【3コマ】</p>
<p>1-2. 緊急地震速報を理解する(10分) ◇グループで協力して必要な情報を収集して外国語で理解する(知識の理解・読む技能の活用・主体性)</p>	<p>●「日本では様々な災害が起こりますが、これからの学習で扱うのは『地震』による災害です。まず地震に関するアンケートに回答してください。」 ※自然災害の中でも突然襲ってくる地震に注目させる。</p> <p>■地震アンケート(英語版)を提示して回答させる。別紙「地震アンケート」参照 ※アンケートを通して地震をどの程度イメージできるか、対応できるかを自己評価する。 ※外国語の語彙を確認しながら防災意識を自覚させる。(自己評価) 例) 緊急地震速報、地震の揺れへの対応など</p> <p>●「この地域で震度7(最大震度)の地震が起きたらどうなるでしょうか？」 ※「東日本大震災」などの生徒が想像できる過去の地震を事例にする。 ※震度7の揺れを想像させる(参考サイトを参照させてもよい)。 学校にいる時や登下校、家庭にいる時のことを想像させる。 想像が困難な場合は、実際に身近で起きた事例を取り上げる。 【参考サイト/気象庁(Seismic Intensity)】 https://www.jma.go.jp/jma/en/Activities/intsummary.pdf</p> <p>●「日本は地震大国ですが、大地震への防災対策の一つとして『緊急地震速報(Earthquake Early Warning: EEW)』という先進的な情報を私たちは受け取ることができます。緊急地震速報について説明できますか？」 ※緊急地震速報について知っていることを発言させる(答えは言わない)。 ※地震の揺れが到達する前に気象庁が発表する情報であることは理解させる。</p> <p>●「日本を訪問する外国人は、緊急地震速報を知らない人がたくさんいます。緊急地震速報を聞いても何が起こるのか想像できないです。」 ※EEWシステムは日本が開発した技術で、外国(カリフォルニア州、メキシコ、トルコなど)にも同様なシステムが整備されている(日本から輸出)。</p> <p>●「また地震の起きない国から来た人もいます。地震の揺れを経験したことがない人は、突然、大地震に遭遇した時にはパニックになるでしょう。」 ※どのような状況になるのか外国人の立場で想像させ、どうすればよいか考えさせる。</p> <p>●「このように訪日外国人にとって、災害に備えるためには情報が必要です。観光庁のデータによると、訪日外国人が災害遭遇時、一番欲しいのは正しい情報とその入手方法とされています。大地震時には通信網の崩壊や情報への一斉アクセスなどで情報が入手できなくなることもありますね。事前に入手できる情報網はあるでしょうか？」 ※災害時、正しい情報はどこからどのように入手できるか考えさせる。 参照: 国土交通省観光庁(2013)『災害時の行ける訪日外国人旅行者への情報提供のあり方に関する提言』 ※高校生は役立つ情報サイトをインターネットで検索して自力で情報提供できることが多いため、教員が情報を与えすぎないようにする。 例) 内閣府『災害情報のページ』や法務省『外国人生活支援ポータルサイト「緊急・災害」』など(英語版)。</p>



●「日本では、緊急地震速報を聞いた後に強い揺れが襲ってきますので、外国人は突然の出来事に混乱するかもしれません。まず、緊急地震速報の仕組みを外国語(英語)のパンフレットと指示されたサイトを使って、グループ活動に別れてから協力して調べてください。」



※緊急地震速報英語版サイト：<https://www.jma.go.jp/jma/en/Activities/ew.html>

当サイトで動画や音声も入手できる。

※外国人は緊急地震速報がどのようなとき、どこからどのように流れるのか知らないため、五感を使った情報提供が効果的だと気づかせる。

◎『実践的な防災教育の手引き(小学校編)』(文部科学省)の活用

緊急地震速報に関する基礎的な知識が不足している場合には、次の教材を活用した外国語による学習を行い補完する。

○第3章 実践事例集「事前、訓練、振り返りの3ステップで実施する防災教育プログラム【地震】」ステップ1(p24~27)

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/jissenbousaisyougakukou.pdf>

1-3. 訪日外国人が必要な情報を収集する(85分)

●「緊急地震速報を聞いた時、訪日外国人が適切な行動を取れるように必要な情報を収集しました。ここからはグループ活動です。訪日外国人がこの地域で観光中に震度7の地震に遭遇するという設定で、外国人に必要な情報が何かを考えます。次に、外国人が訪問しそうな場所を決めて、起承転結(起:訪問地の情報、承:緊急地震速報、転:想定される行動、結:望ましい行動)のシナリオを考え、4コマ形式で収集した情報を整理します。」

※シナリオを4コマ形式(起承転結)で考えさせる。

※災害歴や観光地などの地域特性を踏まえ設定を明確にする。

例) どこにどのくらいの観光客がいつ訪れるか、どのくらいの災害規模かなど

●「それでは、グループに別れて情報収集しましょう。多様な想定を学習するために、他のグループと場面や状況が重ならないように工夫してください。場面や状況が決まったらワークシート“4-strip frame”に記入しましょう。」

※別紙「共同編集用ワークシート」参照

■ワークシートは各グループが共同編集できるように設定して提示する。設定が無理な場合は、黒板等で他のグループの場面や状況が見えるように指示する。

※3-4人のグループを編成する。

※各グループの場面や状況が重ならないよう留意させる。

(ワークシート入力項目:グループメンバー・場所・季節や時間帯などの状況・想定される外国人の反応・望ましい反応)



※学習の進めやすさを考慮して「訪日外国人」の特性を統一しておく。
 例) 訪日外国人=短期旅行目的の地域訪問者で日本語が読めない、片言の挨拶程度の日本語を使用できる」など

展開2(50分)【グループ活動】訪日外国人が緊急地震速報を見聞きしたときの適切な行動を理解するために必要な情報(シナリオ)をグループで検討して動画を作成する。

2-1. グループで動画を作成する(50分)

◇外国語によるシナリオ動画を作成する(思考力・判断力・表現力・主体性)

●「収集した情報を使って4コマ形式(起承転結)で、地震想定シナリオに関する5分以内の動画を作成します。作成した動画は〇〇に提出してください。」

※テレビやスマートフォンで流れる情報等を例として提示する方法を伝えてもよい。
 ※ひらがなや漢字のローマ字表記を付けると外国人に親切であることを理解させる。

●「地震想定シナリオのイメージとその評価は次の通りです。」

■4コマ形式(起承転結)の成果物(5分動画の構成)のイメージを提示する。



■動画の提出先を提示する。

※“flip”などパスコードで特定の集団と動画共有できたり、共同作業できるプラットフォーム(例: グーグルやロイロ)を用意しておくとう便利である。

※動画にしておくで自他評価や振り返りにも有効である。

※特に学習言語による外国人からのフィードバックは動画でもらえると生徒は理解できるまで聞き直すことができる。

※flipは字幕も提示できるので生徒の学習言語の理解(聞く・読む技能)を促進できる。一方で、動画作成は発表より時間を要するので時間配分に注意が必要である。

※評価を外国人に依頼し(例: ALTや海外の中高生)、評価表も共有しておくで評価すべき項目が焦点化されて良い。

例) 起: 観光地情報→承: 緊急地震速報→転: 想定される反応→結: *****



※起承転結の転でクイズ形式(「〇〇な状況で、あなたはどのようにしますか?」の3択問題など)を採用すると、外国人が考えるきっかけになることもある。

展開3(50分)【相互評価と振り返り】外国人に動画を評価してもらい緊急地震速報の理解度と情報(シナリオ)の効果や作成した有効性を振り返る。

3-1. クラスで成果物を鑑賞する(40分)

◇評価表に基づき各グループの動画を相互評価する(話す・聞く技能の活用・主体性)

●「各グループで作成した動画を鑑賞しましょう。自分の考えた想定シナリオと比較しながら自他グループを評価します。各自が評価表にメモしながら鑑賞しましょう。」

■評価表を配付する。

(知識) 「情報の正確さ」は緊急地震速報を正確に理解できたかどうかを評価する。

(思考) 「想定が多様さ」は外国人の視点を想定できたかどうかを評価する。

(技能) 「表現」は通じやすさを評価する。

※別紙「評価表」参照、配点は各校に実情に合わせる



	<p style="text-align: center;">【自己評価表】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">Rubric of 4-strip frame scenario</th> <th style="width: 15%;">Title ()</th> <th style="width: 15%;">Date ()</th> <th style="width: 15%;">Name ()</th> <th style="width: 15%;">Score</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Criteria</td> <td>1 Exemplary</td> <td>2 Accomplished</td> <td>3 Developing</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Accuracy of Information</td> <td>presentation included accurate and detailed references to Earthquake Early Warning</td> <td>presentation made a reference to Earthquake Early Warning, but was lacking in detail or accuracy</td> <td>presentation was based on one's own experience and thought without any reference to a reliable source</td> <td>(3)</td> </tr> <tr> <td>Diversity of Assumptions</td> <td>presentation diversely assumed emergency disaster scenarios by offering visual or audio aid</td> <td>presentation presumably assumed emergency disaster scenarios from a linguistic perspective</td> <td>presentation poorly assumed emergency disaster scenarios, only from a linguistic perspective</td> <td>(5)</td> </tr> <tr> <td>Expression</td> <td>presentation incorporated expressions related to disaster preparedness with proper language</td> <td>presentation incorporated expressions related to disaster preparedness without sufficient understanding</td> <td>presentation conveyed information about the topic, but open to only on previously known vocabulary or sentences were too simple or difficult to follow due to flawed grammar</td> <td>(5)</td> </tr> <tr> <td>4-strip frame</td> <td>a natural flow of a sequence</td> <td></td> <td></td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td>Total scores</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> </tr> <tr> <td>Reflection</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Rubric of 4-strip frame scenario	Title ()	Date ()	Name ()	Score	Criteria	1 Exemplary	2 Accomplished	3 Developing		Accuracy of Information	presentation included accurate and detailed references to Earthquake Early Warning	presentation made a reference to Earthquake Early Warning, but was lacking in detail or accuracy	presentation was based on one's own experience and thought without any reference to a reliable source	(3)	Diversity of Assumptions	presentation diversely assumed emergency disaster scenarios by offering visual or audio aid	presentation presumably assumed emergency disaster scenarios from a linguistic perspective	presentation poorly assumed emergency disaster scenarios, only from a linguistic perspective	(5)	Expression	presentation incorporated expressions related to disaster preparedness with proper language	presentation incorporated expressions related to disaster preparedness without sufficient understanding	presentation conveyed information about the topic, but open to only on previously known vocabulary or sentences were too simple or difficult to follow due to flawed grammar	(5)	4-strip frame	a natural flow of a sequence			(1)	Total scores				(10)	Reflection					<p style="text-align: center;">【他者評価表】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">Peer Evaluation of 4-strip frame</th> <th style="width: 15%;">Date</th> <th style="width: 15%;">Class No.</th> <th style="width: 15%;">Name</th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Title</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Accuracy of Information</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Diversity of Assumptions</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Expression</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Note</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Peer Evaluation of 4-strip frame	Date	Class No.	Name			Title						Accuracy of Information						Diversity of Assumptions						Expression						Note					
Rubric of 4-strip frame scenario	Title ()	Date ()	Name ()	Score																																																																										
Criteria	1 Exemplary	2 Accomplished	3 Developing																																																																											
Accuracy of Information	presentation included accurate and detailed references to Earthquake Early Warning	presentation made a reference to Earthquake Early Warning, but was lacking in detail or accuracy	presentation was based on one's own experience and thought without any reference to a reliable source	(3)																																																																										
Diversity of Assumptions	presentation diversely assumed emergency disaster scenarios by offering visual or audio aid	presentation presumably assumed emergency disaster scenarios from a linguistic perspective	presentation poorly assumed emergency disaster scenarios, only from a linguistic perspective	(5)																																																																										
Expression	presentation incorporated expressions related to disaster preparedness with proper language	presentation incorporated expressions related to disaster preparedness without sufficient understanding	presentation conveyed information about the topic, but open to only on previously known vocabulary or sentences were too simple or difficult to follow due to flawed grammar	(5)																																																																										
4-strip frame	a natural flow of a sequence			(1)																																																																										
Total scores				(10)																																																																										
Reflection																																																																														
Peer Evaluation of 4-strip frame	Date	Class No.	Name																																																																											
Title																																																																														
Accuracy of Information																																																																														
Diversity of Assumptions																																																																														
Expression																																																																														
Note																																																																														
<p>3-2. 振り返り(7分)</p>	<p style="text-align: center;">■ 評価に関する留意点</p> <p>※ALT や JTE が評価する場合は、評価の観点(情報の正確さ・想定が多様さ・表現)について、「優・可・不」の基準を事前に打ち合わせる。特に「情報の正確さ(信頼できる情報源か)」を評価する際は、「言語の正確さ(文法・語法・表現等の正確さ)」との違いを理解する(「言語の正確さ」の評価は「表現」の評価に含まれる)。</p> <p>※防災教育のねらいを達成するため、「内容→情報の正確さ」「構成→想定が多様さ」という評価観点としている。※特に「想定が多様さ」の評価は JTE だけで評価するのは避け、外国人による視点が反映されるよう留意する。</p> <p>※ALT は「情報の正確さ」が分からないことがあるため、評価場面の前に緊急地震速報を理解することが望ましい(パンフレットの活用)。</p> <p>※各グループの作品鑑賞ごとに評価表にメモする時間を取る。</p> <p>● 「各グループの評価結果をみましょう。評価の観点は「情報の正確さ・想定が多様さ・表現」の3つでした。高評価の動画にはどのような視点が含まれますか？」</p> <p>※個人振り返り→グループ振り返り→いくつかをクラス共有、とする。時間がなければ、何人かの意見をクラスで吸い上げる。</p> <p>※緊急地震速報の仕組みを正しく提示しているか、外国人の視点を想定できているか等を中心に上げる。緊急地震速報の仕組み(技術的限界など)を誤って捉えている動画はここで指摘する。</p> <p>※表現に関しては、情報の提示の方法に工夫が見られるものや、誤った文法使用が原因で意図した内容が伝わらない表現に絞ってフィードバックする。</p> <p style="text-align: center;">言語面の誤り例) *ring Earthquake Early Warning(鳴らす、と他動詞使用)</p> <p>※外国人には、生徒が考えた想定に関して意見や感想をもらおうとよい。</p> <p>※外国人とやり取りしながら動画作成の意図や想定内容を掘り下げて、できるだけ誤解を生じさせる原因(想定が浅さや言語の不適切使用)を最小限にしてステップ2に移る。</p> <p>※ステップ1で終える場合は、この振り返り場面を丁寧に行う。</p>																																																																													
<p>3-3. まとめ(3分)</p>	<p>● 「学習を振り返ります。特に、緊急地震速報を正しく理解して、それを正確に伝えることができたかどうかを重点的に振り返り、シナリオの改良を目指します。」</p> <p>※ステップ2(実際の外国人との議論)に向けて、緊急地震速報や自分たちの想定について、どう改良すれば外国人に分かりやすく災害時の情報入手方法や行動について情報提供できるかをグループで振り返らせる。自他評価の評価表の点数も参照させる。</p> <p>※10コマ確保することが困難な場合は、ステップ1までで防災意識を高める学習効果をねらう。</p> <p>※展開1~3は話す技能についてのグループ評価である。個人能力を成績評価したい場合はステップ3参照。</p> <p style="text-align: center;">■ 評価表の回収</p> <p>※主体性の評価: 本実践では成果物をグループで作成して改善しようとする態度や姿勢を通して、学習への粘り強さや学習の調整力を継続的かつ一体的に評価する。</p>																																																																													